

# 月別市況

1 月

1月の取扱頭数は、牛 9,871.5頭、豚30,269.5頭で、1日平均取扱頭数は、牛 494頭（前月比83.6%）、豚 1,513頭（同 107.5%）であった。

年明けの在庫手当が一段落した後、高い鈍く入荷は全体に低調。相場は和牛反落、乳牛下押。

牛枝肉（生体去勢）の月間平均価格は和牛（A-4） 1,968円、乳牛（B-3） 864円であった。

豚の取引は全国出荷頭数 154万8千頭で、1日平均7万7千 412頭と前月比 8.9%増加。相場は下押。

輸入牛肉は、取扱量 188トン（前月比79.7%）、セリ上場分は21.4トン。相場は弱含み。

3 月

3月の取扱頭数は、牛11,147.5頭、豚33,070頭で、1日平均取扱頭数は、牛 464頭（前月比99.8%）、豚 1,378頭（同96.0%）であった。

年度末で仕入量が減退する時期であるが、入荷は牛、豚ともに保合。相場は和牛は下落し、乳牛は小保合。豚白上物 510円（前月比49円高）と上げた。

牛枝肉（生体去勢）の月間平均価格は和牛（A-4） 1,872円、牛（B-3） 909円であった。

豚の取引は全国出荷頭数 166万1千頭で、1日平均6万9千 226頭と前月比 3.8%減少。相場は強含み。

輸入牛肉は、取扱量 154トン（前月比 111.0%）、そのうちセリ取扱量 1.8トンであった。相場は弱含み。

5 月

5月の取扱頭数は、牛 9,637頭、豚26,473.5頭で、1日平均取扱頭数は、牛 459頭（前月比93.1%）、豚 1,261頭（同91.8%）であった。

料理の端境期にあたるとともに、消費も伸び悩んでいるため、入荷は牛、豚とも減少。

相場は和牛、乳牛とも下落した。豚白上物 479円（前月比47円安）と下落した。

牛枝肉（生体去勢）の月間平均価格は和牛（A-4） 1,802円、乳牛（B-3） 918円であった。

豚の取引は全国出荷頭数 145万7千頭で、1日平均6万9千 380頭と前月比 1.9%減少。相場は弱含み。

輸入牛肉は、取扱量83トン（前月比11.7%）、そのうちセリ取扱量 5.3トンであった。相場は弱含み。

2 月

2月の取扱頭数は、牛 9,762頭、豚30,162頭で、1日平均取扱頭数は、牛 465頭（前月比94.1%）、豚 1,438頭（同94.9%）であった。

暖冬と長引く景気の低迷から抜け出すことが出来ず、入荷は横ばい。相場は、和牛、乳牛保合。豚白上物 481円（前月比48円高）と上伸。

牛枝肉（生体去勢）の月間平均価格は和牛（A-4） 1,920円、乳牛（B-3） 906円であった。

豚の取扱は全国出荷頭数 151万1千頭で、1日平均7万1千 969頭と前月比 7.0%減少。相場は、上伸。

輸入牛肉は、取扱量 140トン（前月比74.5%）、セリ上場分は12.3トン。相場は反落。

4 月

4月の取扱頭数は、牛11,347.5頭、豚31,605頭で、1日平均取扱頭数は、牛 493頭（前月比 106.3%）、豚 1,374頭（同99.7%）であった。

決算期の在庫調整あけで、入荷は牛順調、豚は保合。相場は和牛、乳牛とも上げた。豚白上物 526円（前月比16円高）と引き続き上げた。

牛枝肉（生体去勢）の月間平均価格は和牛（A-4） 1,972円、乳牛（B-3） 924円であった。

豚の取引は全国出荷頭数 162万7千頭で、1日平均7万 737頭と前月比 2.2%増加。相場は強含み。

輸入牛肉は、取扱量 709トン（前月比 460.4%）、そのうちセリ取扱量33.3トンであった。相場は強含み。

6 月

6月の取扱頭数は、牛10,535頭、豚29,819.5頭で1日平均取扱頭数は、牛 458頭（前月比99.8%）、豚 1,288頭（同 102.1%）であった。

夏に向かって食物の嗜好も変わる時であるが、入荷は牛、豚とも保合。相場は、和牛は上げたが、乳牛は統落した。豚白上物 490円（前月比11円高）と小幅高となった。

牛枝肉（生体去勢）の月間平均価格は和牛（A-4） 1,911円、乳牛（B-3） 856円であった。

豚の取引は全国出荷頭数 152万5千頭で、1日平均6万6千 298頭と前月比 4.4%減少。相場は保合。

輸入牛肉は、取扱量 277トン（前月比 333.7%）、そのうちセリ取扱量22.8トンであった。相場は弱含み。

7 月

7月の取扱頭数は、牛11,385.5頭、豚29,927.5頭で1日平均取扱頭数は、牛 455頭（前月比99.3%）、豚 1,197頭（同92.9%）であった。

梅雨がだらだらと続いた天候不順で、入荷は牛保合、豚は低調。相場は、和牛、乳牛とも上げた。豚白上物 514円（前月比24円高）と小幅統伸。

牛枝肉（生体去勢）の月間平均価格は和牛（A-4） 1,979円、乳牛（B-3） 943円であった。

豚の取引は全国出荷頭数 153万8千頭で、1日平均6万1千 516頭と前月比 7.2%減少。相場は強含み。

輸入牛肉は、取扱量79トン（前月比28.5%）、そのうちセリ取扱量 5.5トンであった。相場は弱含み。

9 月

9月の取扱頭数は、牛11,109頭、豚32,448頭で、1日平均取扱頭数は、牛 505頭（前月比 104.1%）、豚 1,475頭（同 108.9%）であった。

需要期に向けて、入荷は牛、豚とも順調に推移した。相場は、和牛は上げ、乳牛はまちまちであった。豚白上物 423円（前月比6円安）と小幅下げた。

牛枝肉（生体去勢）の月間平均価格は和牛（A-4） 1,975円、乳牛（B-3） 928円であった。

豚の取引は全国出荷頭数 160万頭で、1日平均7万2千 740頭と前月比 4.6%増加。相場は強含み。輸入牛肉は、取扱量 156トン（前月比 118.2%）。セリ上場分は取引なし。

11 月

11月の取扱頭数は、牛11,955頭、豚37,375.5頭で、1日平均取扱頭数は、牛 543頭（前月比 113.1%）、豚 1,699頭（同 114.0%）であった。

本格的な需要期をむかえて、入荷は牛、豚とも順調。相場は、和牛がわずかに上げ、乳牛はやや下げた。豚白上物 411円（前月比3円高）と小幅高。

牛枝肉（生体去勢）の月間平均価格は和牛（A-4） 1,951円、乳牛（B-3） 916円であった。

豚の取引は全国出荷頭数 173万9千頭で、1日平均7万9千34頭と前月比 8.7%増加。相場は反落。

輸入牛肉は、取扱量 493トン（前月比 111.3%）。セリ上場分は 8.9トンであった。相場は弱含み。

8 月

8月の取扱頭数は、牛10,659頭、豚29,813頭で、1日平均取扱頭数は、牛 485頭（前月比 106.6%）、豚 1,355頭（同 113.2%）であった。

夏休みとお盆の帰省で需要の減る時期ではあったが、冷夏の影響で豚の発育も良く、入荷は牛、豚とも順調。

相場は、和牛は小幅下げ、乳牛は小幅上げた。豚白上物 429円（前月比85円安）と大幅下落した。

牛枝肉（生体去勢）の月間平均価格は和牛（A-4） 1,922円、乳牛（B-3） 911円であった。

豚の取引は全国出荷頭数 153万頭で、1日平均6万9千 524頭と前月比13.0%増加。相場は弱含み。

輸入牛肉は、取扱量 132トン（前月比 167.1%）、そのうちセリ取扱量 0.2トンであった。相場は弱含み。

10 月

10月の取扱頭数は、牛11,038.5頭、豚34,296.5頭で、1日平均取扱頭数は、牛 480頭（前月比95.0%）、豚 1,491頭（同 101.1%）であった。

秋の消費シーズンではあったが料理の端境期にあたったため、入荷は牛、豚とも保合。

相場は、和牛がほぼ横ばい、乳牛はやや上げた。豚白上物 408円（前月比15円安）と統落した。

牛枝肉（生体去勢）の月間平均価格は和牛（A-4） 1,871円、乳牛（B-3） 928円であった。

豚の取引は全国出荷頭数 167万2千頭で、1日平均7万2千 702頭と前月比 0.1%減少。相場は弱含み。

輸入牛肉は、取扱量 443.0トン（前月比 284.0%）。セリ上場分は 3.4トン。相場は弱含み。

12 月

12月の取扱頭数は、牛14,691.5頭、豚36,111.5頭で、1日平均取扱頭数は、牛 612頭（前月比 112.7%）、豚 1,505頭（同88.6%）であった。

年末需要に支えられ、入荷は和牛を主体に牛順調、豚は減少。

相場は、和牛・乳牛とも年末需要から上げた。豚白上物 433円（前月比22円高）と統伸。

牛枝肉（生体去勢）の月間平均価格は和牛（A-4） 2,215円、乳牛（B-3） 1,027円であった。

豚の取引は全国出荷頭数 174万4千頭で、1日平均7万2千 664頭と前月比 8.1%減少。相場は統伸。

輸入牛肉は、取扱量 524トン（前月比 106.3%）。セリ上場分は 3.7トン。相場は弱含み。